

## 北川水系河川整備計画(原案)(国管理区間)住民意見交換会

### 開催状況

開催日時	場 所	参加者	意見交換会の状況
平成22年1月13日(水) 19:00～21:00	パレア若狭	56名	
平成22年1月14日(木) 19:00～21:00	小浜市働く婦人の家	28名	
平成22年1月15日(金) 19:00～21:00	小浜市働く婦人の家	26名	

平成22年1月13日(水) パレア若狭

発言者	意見・質問	回答
日笠 (男性)	北川上流の滋賀県区域に砂利の採石場があり、下流に堆積等の影響がでていると感じる。このことに対して、どのような対策というか変化を把握されているのかお答え頂ければと思います。	滋賀県では、採石法の定めにより、土砂の流出防備、開発に伴う調整池等流出抑制対策等の審査のうえ、指摘の採石場について許可したもので、採石に伴い必要となる措置を講じた上で土砂の採取が行われていると聞いています。 国土交通省としては、今後も事業が適正に実施されるよう引き続き情報交換を行っていきます。
	洪水の時、樹木がない裸山では、鉄砲水とか流量が増える認識を持っているのですが、その点については特に問題ないのでしょうか。	今回の整備計画は、国の管理区間について策定します。今後、採石場からそのような影響が予測できれば、関係機関も含め流域一体としての対策を講ずる必要があると考えています。
	上記のことについて、検討の課題としてはあがっているわけですか。現状では、有事の場合は対策をされるということですが、予防的な課題としての検討はないのですか。	流域の環境の変化による洪水流出等の変化など、北川水系における課題を解決するためには、流域一体となった対策が必要なことから、流域に関係する機関や事業者と連携し、総合的な河川整備を目指します。
下野木 (男性)	私が住んでいる下野木に野木川が流れ、堤防とほぼ同じような洪水が近年発生している。理由としては、北川の水位が高いために、野木川が流れが悪くなっていると思うので、北川へスムーズに流れるような方策がとれないのか。	野木川合流点までの掘削は、今回の整備計画で掘削対象になっていませんが、堆積土砂が管理上の支障(阻害)となる場合には、適切な維持掘削を行います。
	野木川の近くに霞堤があり、洪水時に霞堤へ水が入り、県道が冠水します。平成16年の時は、冠水を知らずに車が入りエンジンが傷みました。野木川の水を北川へスムーズに流れるようにすると、このようなことが解消できると思います。	道路の通行止は、道路管理者で行います。通行止め等の判断に必要な河川情報の提供は、河川管理者から河川情報を的確に提供することで対応します。
神谷 (男性)	他の一級河川では、公園があるが、今回の計画にはないのですか。	公園の整備は、河川管理者は行いません。自治体で公園に利用する申請を行い、それを河川管理者が審査して問題がなければ許可します。

平成22年1月14日(木) 小浜市働く婦人の家

発言者	意見・質問	回答
国富 (男性)	霞堤は、地域住民の理解のもと機能維持に努めるとあるが、機能維持について何を言っているのか聞きたい。	北川の霞堤は、平常時にあっては堤内地側の排水を容易にする他、洪水時には上流で堤内地に氾濫した水を河川に戻す役割や開口部から水が逆流して堤内地に湛水し、下流に流れる洪水の流量を減少させるなどの効果があるので、このような機能維持に努めます。
	霞堤の機能維持した結果が、家屋の浸水につながっているというのは、いたしかたないということですか。	今回の整備計画で設定している洪水規模では、江古川以外の霞堤については、家屋の浸水はありません。江古川の霞堤については、福井県が実施する治水対策に対して十分な調整を図り、必要な情報提供を行います。
	江古川については、家屋浸水被害が発生しないと考えてよろしいのでしょうか。	江古川については、福井県で実施する治水対策に対して、北川本川の河道掘削で水位を低下させ、連携を図りながら、必要な情報提供を提供し、調整を図って実施していきます。
水取 (男性)	北川水系水利用情報交換会は、どこで行われているのか。	河川管理者と水利用者が常日頃から情報および意見の交換を行い、相互の意思の疎通を図る目的に平成9年から設置しています。今年度は、今年の12月2日に開催しました。
	北川水系水利用情報交換会には、農業関係者などしか参加できないのか。	一般の方も、傍聴可能です。
	北川水系水利用情報交換会の開催の報道を、もう少し大きく報道してもらいたい。	記者発表の他、福井河川国道事務所のホームページで載せています。
	洪水になった時に、どこが危ないのか、どこに避難したらよいのかというマップをつくってはどうか。	小浜市のハザードマップは、平成18年7月に公表されており、すでに各戸配布が終了していると小浜市より報告をいただいております。なお、ハザードマップは、各市町村が作成し配布することになっています。
親水公園や住民の方が集える公園などがあると北川に対して親しみが持てると思うので整備してほしい。	公園の整備は、河川管理者は行いません。自治体で公園に利用する申請を行い、それを河川管理者が審査して問題がなければ許可します。	
国富 (男性)	国富地区は、平成16年の台風23号で床上・床下浸水があった。江古川改修は、国富地区では30年以上の念願の課題となっています。国土交通省と福井県が連携を図り、重要河川としてとりあげて頂きたいと思えます。	江古川に関する治水対策については、今回の整備計画による効果を確認しながら、福井県との連携を密にして対策を検討していきたいと考えています。
	対象期間は概ね30年ですが、10年間先、20年先のもう少し具体的に計画が実行できないか。	今回の整備計画は、北川水系河川整備基本方針に至る段階的に整備を行う河川として、概ね20年から30年で整備する内容を計画したものです。
国富 (男性)	魚道について、どれくらいの魚が遡上しているのか調査はされているのですか。	平成11年の堤床固工の魚道の調査結果では、約1000個体のアユが遡上しています。
	北川は堰が多いことでも有名です。1箇所調査されるのではなく、下流から上流まで遡上できる川づくりが大切であると思うのです。	河川の連続性を確保するため、魚道が設置されていない堰については、管理者には設置・改善の指導を行います。
一番町 (男性)	堤防としての必要な断面を有していない堤防や堤防の安全性が懸念される箇所も存在し、計画高水位に達しない洪水であっても堤防が決壊する恐れがあるとありますが、この懸念される場所は公表されているのか。	福井河川国道事務所のホームページに掲載しています。
	堤防の整備で、決壊箇所はホームページで公表しているということですが、高齢化社会で、パソコンを使えない、ホームページを開けないということが圧倒的に多いと思うので、若干不親切に感じる。	国土交通省福井河川国道事務所及び、北川出張所で閲覧しています。

発言者	意見・質問	回答
竜前 (男性)	基本的な考え方と目標で、基本方針の超過確率100年について、もう少し具体的に説明してほしい。	約100年に一度発生すると予想される降雨に対して生じる洪水が1,900m <sup>3</sup> /sです。
	高塚地点における洪水調整量100m <sup>3</sup> /sについて、説明をお願いしたい。	福井県が計画している洪水調節施設によって、高塚地点において、100m <sup>3</sup> /sの洪水調節効果(100m <sup>3</sup> /sが河道に出でこない)があります。
	遠敷川の目標流量を教えてください。	今回の整備計画では、遠敷川合流点より下流部を対象としておりますので、遠敷川につきましては、設定していません。
	遠敷川合流点より下流の1400m <sup>3</sup> /sと1800m <sup>3</sup> /sとの関係を具体的に説明してほしい。	北川水系河川整備基本方針は、計画規模を超過確率100年と設定し、高塚地点での最大流量は1900m <sup>3</sup> /sとなります。これに福井県の洪水調節施設による効果を見込むと、最大流量は、1800m <sup>3</sup> /sとなっています。整備計画は、北川の上下流の人口・資産状況、計画対象期間内に達成すべき整備水準等を勘案し、基本方針の途中段階として1400m <sup>3</sup> /sを設定しています。
水取 (男性)	堤防整備で決壊の恐れがあるということで、丸山橋からこのとり大橋の間の堤防の法面が崩れている部分が見受けられる。堤防整備を中心に考えてほしい。	貴重な意見ありがとうございます。(後日、御指摘のあった区間の現地踏査を行いました。北川で法面が崩れている部分は確認できませんでした。)
国富 (男性)	北川の最高雨量はどのくらいか。	昭和28年台風13号では、高塚上流域で、254mm/日です。
	近年は特に集中的な降雨があるということで、もう少し堤防をあげてもらわないといけないのではないかと。	今回の整備計画では、遠敷川合流点より下流を掘削することにより、水位低下を図ることとしています。
	北川の最高降雨量は300mmということで、舞鶴若狭自動車道の道路計画を行っている整合はどのようになっているのか。	道路計画で設定している雨量については不明ですが、今回の整備計画では、5時間雨量を181mmと設定しています。
	江古川の導流堤をもう少し河口まで伸ばす考え方はできませんか。  太良庄地区に、込田川が流れており、洪水になると浸水する。このため、田んぼからの用途変更ができないと聴いている。国土交通省で何か考えて頂けないか。	江古川につきましては福井県と十分な調整を図り、必要な情報提供を行います。  今後20年から30年は、府中頭首工から下流の流下能力が不足している箇所掘削をさせていただきます。それによって北川の水位が下がるので、今までより、冠水頻度は少なくなると考えています。
国富 (男性)	今回の計画では河床をどのくらい掘削するのか。	掘削については、河口部で深さ約1.0m程度です。
	不法投棄の件で20年ほど前にアンケートで築堤部分に遊歩道をつくってはどうかという案を出したことがある。このような発想で長期に実行できるようにお願いしたい。	20年前のアンケートへのご協力ありがとうございました。不法投棄については、予算の関係もあり、治水対策に重点を置いて実施していきたいと考えていますのでご理解をお願いします。

平成22年1月15日(金) 小浜市働く婦人の家

発言者	意見・質問	回答
国富 (男性)	この計画で平成16年の台風23号のような洪水が発生した場合、江古川の被害は回避されるのか。	平成16年台風23号の最大流量は919m <sup>3</sup> /sでした。今回の整備計画では1400m <sup>3</sup> /s程度の流下能力を確保する掘削を行い水位低下を図ることとしています。福井県の江古川の対策と合わせ、浸水被害は相当少なくなると考えています。
	国富地域を流れ江古川は、海面が高くて逆流現象が起きている。この点の分析をどのようにされているのか伺いたい。	国富地域の浸水は、北川からの逆流によるものと江古川の洪水の複合的な要因と考えています。北川の逆流に対しては、北川の河床掘削で対応し、江古川の洪水に対しては、福井県の治水対策で対応されると考えています。
	北川の下流地盤が低く、甚大な被害が発生するので、その他の対策等がありましたらお願いします。	限られた予算の中で一番効果的な整備(河床掘削)を今後20年から30年間で起こします。次の段階になれば、その他の対策もあると考えております。
国富 (男性)	多田川は河口まで流れているが、江古川も河口まで流すことはできないか。	江古川は福井県が管理しています。江古川の治水対策については、今後北川の掘削の効果を検証して、福井県と十分な調整を図り必要な情報提供を行います。
	江古川合流より下流の北川は狭くなっており、江古川の被害が軽減されないと思う。川の断面を流れやすくすることを考えて頂かないと解決しないと思う。	流下能力については、遠敷川合流点から下流の河床掘削で流れるという計算結果となっています。
国富 (男性)	多田川は以前は樋門で北川に流れていた。現在は海まで流れている。江古川についても、多田川のようにするのが一番ですが、ただ費用が必要になるということです。河床掘削のみでなく、十分考えて頂きたいと思います。	江古川は福井県が管理しています。江古川の治水対策については、今後北川の掘削の効果を検証して、福井県と十分な調整を図り必要な情報提供を行います。
	野木川から下流の土砂の撤去も考えて頂きたいと思います。	遠敷川合流点から下流の河床掘削で、今後20年から30年間で河道掘削を優先させて頂きたいと思えます。野木川の下流部分については、今後の課題とさせて頂きます。
	堆積した土砂は霞堤内の嵩上げに使用できないのか。	一般的に、河床からの掘削土はヘドロ状ですので、すぐに盛土や造成に使用できる状態ではありません。そうしたことを踏まえて実際の工事の時点で、施工性、経済性に配慮しながら適切な発生土の利用について検討したいと考えます。
国富 (男性)	高塚より下流の堤防の強化対策をどのように考えておられるのか。	堤防内に洪水が浸透しないように、遮水シートや護岸等の整備、堤防下の浸透に対しては、浸透を止める鋼矢板があり、今後最適な対策を検討し実施します。
	今の堤防がどのような規模に耐えられるのかお伺いしたい。	堤防を評価する基準に従い評価しています。堤防の強化は、緊急性の高いところから安全性を向上させます。
福谷 (男性)	掘削は、どの程度実施するのか。河口は河床掘削してもまた堆積し、掘削が必要になる。この期間をどれくらい考えているのか。	掘削については、河口部で深さは約1.0m程度です。掘削後は、モニタリングを行い、流下能力を確保するために、必要に応じて維持掘削を行います。
	掘削工事によって、土砂が海に流入してくる。そのような影響をどのように考えられているのか。	工事の濁水等については、汚濁防止フェンスなどで十分対策を行い、河川環境への影響を軽減させます。
	工事によって、生物の多様性に変化が発生した場合、この問題をこの計画でどのように取り扱うのか教えて頂きたい。	事業監視計画として、計画の策定から実施、モニタリング、評価、改善を経て、計画にフィードバックするPDCAサイクルにより、継続的な改善がされるように努めます。なお、PDCAサイクルの全ての段階において、地域住民、市民団体、学識経験者、関係機関と協力し、協働・連携することでより質の高い川づくりを目指します。
宮川 (男性)	遠敷川合流点より上流の掘削について、災害等の事例があれば、早急にその合流点についての浚渫をするなり、対応をして頂けるのか、30年以降、整備が終わらないと上流の整備ができないというのかをお聞きしたい。	遠敷川合流点より下流の河床掘削については、限られた予算、効率的を勘案して計画している。整備計画は、現時点における河道状況等を前提として策定したものであり、災害等が発生した場合は、必要に応じて適宜見直しを行います。また、堆積土砂が河川管理上の支障となる場合や現状の保全・回復のため必要な場合は、適切な維持掘削を行います。